広報ふじ

No.600

平成5.8.5（毎月5日・20日発行）

ここに生きる ⑮

子供たちを見詰めながら

広見保育園保母
土屋みどりさん・37歳

高校生のとき、保母になる道を選んだ土屋みどりさん。今は年長児担当のベテランです。

子供は十人十色。だから、一人一人の内面を見詰めながら、小さな訴えにも耳を傾けます。保育園が、心から安心して過ごせる場所であってほしいと思うから。

2～7 夏。平和を考える季節
8・9 まちかどネットワーク
10・11 **缶の出し方が変わります**
12～15 暮らしのたより
16 私の好きな風景